

1チョコ for 1スマイルキャンペーン10周年！  
支援総額は10年間で2億円を超えました

冬季限定 北海道産生クリームを贅沢に使用した至福の口どけ

# カレ・ド・ショコラ<リッチクリーミーミルク>

1月15日（火）より新発売

『1チョコ for 1スマイルキャンペーン』※支援地域のカカオマスを使用

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井 徹）は、大人のデイリープレミアムチョコレート「カレ・ド・ショコラ」シリーズから、「カレ・ド・ショコラ<リッチクリーミーミルク>」を1月15日（火）より新発売いたします。

「カレ・ド・ショコラ<リッチクリーミーミルク>」は、北海道産生クリームを使用し、ミルクをひと手間かけて煮詰め、ミルクのコクとキレのある味わいを実現しました。さらにフルーティーなドミニカ産の豆と『1チョコ for 1スマイルキャンペーン』\*の支援地域であるガーナ産のカカオマスを6%使用。口どけがよくなめらかな食感と、ミルクのコクに負けない濃厚な味わいに仕上げました。

この冬は、冬季ならではの至福の口どけにこだわった濃厚な味わいの冬季限定「カレ・ド・ショコラ<リッチクリーミーミルク>」を筆頭に「カレ・ド・ショコラ」シリーズで、チョコレートで市場を盛り上げてまいります。

なお、1月16日～2月14日の『1チョコ for 1スマイルキャンペーン』強化月間中に「カレ・ド・ショコラ<リッチクリーミーミルク>」他対象商品をお買い上げいただくと、商品1個につき1円が支援地域に寄付されます。チョコレートを食べる人も、チョコレートのふるさとで学ぶ子供たちも、みんなを笑顔にしたい、それが、森永製菓の願い（想い）です。



▲左：「1チョコ for 1スマイルキャンペーン」イメージ図

お客様と一緒に笑顔をつくる支援の循環

右：支援地区のガーナの子どもたち

▲「カレ・ド・ショコラ  
<リッチクリーミーミルク>」

※『1チョコ for 1スマイルキャンペーン』：2008年に創業110年を記念したCSR活動として、カカオ生産国の子どもたちの笑顔のための商品売上連動型プロモーション「1チョコ for 1スマイルキャンペーン」を開始。国際協力NGOと連携し、対象商品1個につき1円をカカオ生産国における子どもたちの教育支援、およびカカオ農家の自立支援に充てる活動を行ってまいりました。この10年間で総額212,231,407円を支援、この度の「カレ・ド・ショコラ<リッチクリーミーミルク>」は、ガーナで支援した地域のカカオマスを使用しています。

■「カレ・ド・ショコラ<リッチクリーミーミルク>商品概要

<商品特長>

- 北海道産の生クリームを使用したミルクのコクとキレのある味わいに仕上がりました
- ミルクのコクに負けないフルーティーな香りが特長の貴重なドミニカ産のカカオ豆を使用しています。
- 『1チョコ for 1 スマイルキャンペーン』※の支援地域のガーナ産カカオマスを使用しています。



<発売日>2019年1月15日（火）～2月末

<内容量>18枚

<発売地区>全国／全ルート

<参考小売価格>370円（税別）／400円（税込）

## ■ご参考：1チョコ for 1スマイルキャンペーン 10周年のあゆみ

2008年に創業110年を記念したCSR活動として、カカオ生産国の子どもたちの笑顔ための商品売上連動型プロモーション「1チョコ for 1スマイルキャンペーン」を開始しました。

チョコレート原料『カカオ』が作られる赤道近くの中には、経済的な自立が難しく、十分な教育環境が整っていない地域もあります。「1チョコ for 1スマイル」は、ガーナなどカカオの国の子どもたちが安心して教育を受けられるように、商品の売上の一部を使って支援する活動です。

国際NGO「プラン・インターナショナル」と日本のNGO「ACE（エース）」を支援活動のパートナーとして、年間を通して行う寄付に加え、＜特別月間＞では、森永チョコレート対象商品1個の売上につき1円をカカオ生産国における子どもたちの教育支援、およびカカオ農家の自立支援に充てる活動を行ってまいりました。当初小学生だった子どもたちも大学生や社会人へと成長しました。

この10年間で総額212,231,407円を支援しました。

## ◇カカオ生産国の子どもたちへの支援活動内容と商品の歩み

年	支援地区	支援内容	商品の歩み
2008年	フィリピン	小学校建設や教育環境づくりの支援活動 <sub>P</sub>	
2009年	カメルーン	小学校建設やトイレ、井戸の設置や衛生指導 <sub>P</sub>	<b>「70g 森永チョコレート&lt;1チョコ for 1スマイル&gt;」</b>  <p>2013年1月15日発売(数量限定)(300円税別)、支援地区のカカオマス含有量は、全カカオマスの80.4%</p> <p>ACEを通じて支援したガーナ・クワベナアクア村などで収穫されたカカオ豆を使用※現在は販売していません</p>
	ガーナ	小学校建設や学用品の支給など学習環境改善プログラムを実施 <sub>P</sub> /子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2010年	エクアドル	11校の小中学校での食堂等の建設や運動場の整備等学習環境改善プロジェクトを実施 <sub>P</sub>	<b>「森永チョコレート&lt;1チョコ for 1スマイル&gt;」</b>  <p>2014年1月14日発売(数量限定)(300円税別)、支援地区のカカオマス100%使用</p> <p>ACEを通じて支援したガーナ・アシャンティ州の村で収穫されたカカオ豆を使用 ※現在は販売していません</p>
	ガーナ	子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2011年	インドネシア	小学校の教室・校舎建設、トイレ修繕、中学校の校舎建設 <sub>P</sub>	<b>「森永チョコレート&lt;1チョコ for 1スマイル&gt;」</b>  <p>2015年1月27日発売(160円税別)、支援地区のカカオマス100%使用(通年販売)(国際フェアトレード認証)</p> <p>ACEを通じて支援したガーナ・アシャンティ州の村で収穫されたフェアトレードカカオ由来のカカオマスを100%使用 ※現在は販売を休止しています</p>
	ガーナ	小学校建設や学用品の支給など学習環境改善プログラムを実施 <sub>P</sub> /子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
	日本・東北	東日本大震災被災地 <sub>P</sub>	
2012年	カメルーン	小学校建設、教育支援、衛生環境の整備、トレーニング等 <sub>P</sub>	<b>「森永チョコレート&lt;1チョコ for 1スマイル&gt;」</b>  <p>2019年1月15日発売(370円税別)、ACEを通じて支援したガーナ・アシャンティ州の村で収穫されたフェアトレードカカオ由来のカカオマスを6%使用</p>
	ガーナ	子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2013年	ガーナ	備品の支給や図書室建設等の教育支援等 <sub>P</sub> /子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2014年	エクアドル	小学校建設、衛生環境の整備、トレーニング等 <sub>P</sub>	
	ガーナ	子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2015年	カメルーン	小学校建設、教育支援、衛生トレーニング等 <sub>P</sub>	
	ガーナ	子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2016年	ガーナ	教育支援プロジェクト実施 <sub>P</sub> /子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2017年	エクアドル	教育支援プロジェクト実施 <sub>P</sub>	
	ガーナ	子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など <sub>A</sub>	
2018年	カメルーン	教育支援進行中 <sub>P</sub>	
	ガーナ	子どもの就学支援、カカオ農家の技術向上・自立支援、児童労働解決システムの構築など進行中 <sub>A</sub>	

※P:プラン・インターナショナル、A: ACE